



造船科・造船部

# 全国制覇

会心の勝利で有終の美

## 須崎工ソーラー艇V6

福岡大会スラローム



今年で23回目、柳川市に残るお堀を舞台に4、5日に開催された。2種目と

もソーラーパネルと蓄電池を積んだ1人乗りの艇で競う。学生の部の「スラローム」

### 快速!! 大会新

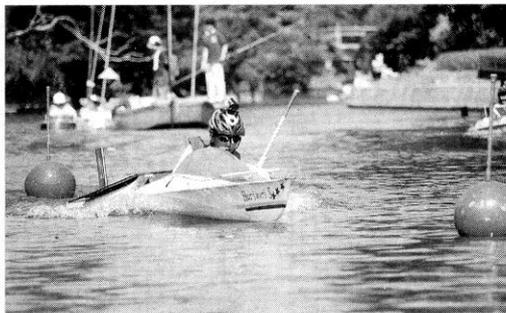
縫って進む「スラローム」は、フイとの接触を避け、減速を最小限に抑えた。操

ムには13艇、「周回」には15艇が出場した。直線150mに浮いたフイを

【須崎】福岡県柳川市でこのほど開かれた太陽光発電で走るソーラーボートの速さを競う「柳川ソーラーボート大会」で、須崎市の須崎工業高校造船部が学生の部の「スラローム」周回の2種目で優勝した。「スラローム」は6連覇で、一般と学生の両部

門の大会記録を破った。また、「周回」も5連覇を達成した。来春の統合で須崎総合高校となるため、今回が「須崎工業」として出場する最後のレースだが、会心の勝利で有終の美を飾った。

(早川 健)



今年も2種目を制し、喜ぶ造船部員(須崎市多々野の須崎工業高校) スラロームで24秒台を出し、会場がどよめいた (福岡県柳川市「須崎工高提供」)

縦した2年の杉本葉斗さん(16)は「去年より速いギアとアロペラの組み合わせが良く、ミスなく走れた」と振り返る。レース後「24秒86」のアナウンスに部員3人は驚いた。学生の部の大会記録は同校が持つ27秒06で、一般の部の記録は25秒37。両部門の記録を破るとともに、目標とした26秒台も大きく上回った。約3・1秒の堀を3周する周回決勝は学生、一般の計18艇が一斉スタート。1周目、鰻光用の小舟が須崎工高の進路をふさぐハプニングがあったが、40分21秒でトップを守り切った。ピット作業でレースを支えた2年の小原善治さん(17)は「こんなに速く走れるのはすごい。来年はできる作業を増やしたい」。1年の小田賢治さん(16)は「先輩の活動を見習って造船部を続ける」と決意も新たに語る。顧問の木下裕次郎教諭も「来年この記録をまた超える」と意欲満々だった。

## 第23回柳川ソーラーボート大会

2部門1位独占!

スラローム(6連覇)・周回の部(5連覇)